

## 第36回「部落差別をなくする運動」強調旬間

【期間】7月9日～7月19日

### 部落差別とは

日本固有の人権問題である部落差別は、憲法が保障する基本的人権に関わる重要な問題です。

1965(昭和40)年の「同和对策審議会答申」以来、旧大方町と旧佐賀町においては、その理念のもとに部落差別の解決のために積極的に取り組んできました。その結果、住環境整備や産業振興などの主要なハード事業は、いくつもの課題を残しつつもおおむね完了し、一定の成果を収めることができました。

しかし、人々の観念や潜在意識にかかわる心理的差別については、着実に解消へ向けて進んでいるものの、結婚問題を中心に依然として根深く存在しています。このことは、2005(平成17)年・2006(平成18)年に実施した住民意識調査の結果をみても明らかで、今なお多くの課題が残されています。

今後は、この心理的差別の解消を目指し、これまでの同和教育や啓発活動によって積

### 期間中の行事

み上げられてきた成果とこれまでの手法への評価を踏まえて、他のさまざまな人権課題との関連を考慮しながら、教育・啓発を中心に部落差別の解決を目指していくことが必要とされています。

(解説)部落差別の問題を行政では同和問題といっています。

この期間を中心に大方あかつき館で写真などの特別展示、映画上映会や講演会を行います。入場は、すべて無料です。皆さんのお越しをお待ちしています。

### 特別展示「リバティ」

- ▼横浜解放子ども会・浜松解放子ども会の活動紹介
- ▼万行地区・横浜地区の今昔写真展
- ▼じんけんの七夕

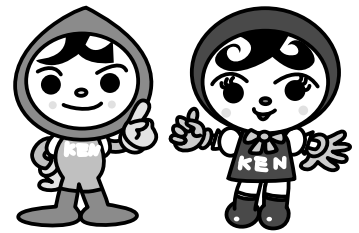
### 展示期間

7月9日(木)～19日(日)

午前9時～午後5時

### 場所

大方あかつき館町民ギャラリー



人権イメージキャラクター  
人KENまもる君・人KENあゆみちゃん

### 映画上映(アニメ)

7月18日(土)

①午後2時～午後3時

▼「二匹の猫と元氣な家族」

▼「走れ、ジョン」

②午後3時半～午後4時半

▼「おじいちゃんの花火」

▼「ふたりのタロウ」

### 場所

大方あかつき館レクチャーホール

### 講演会

### 演題

「部落問題のこれから」

### 講師

角岡伸彦さん

(大阪市・ノンフィクションライター)

### 日時

7月17日(金)

開場 午後7時

開演 午後7時半

### 場所

大方あかつき館レクチャーホール

### 〈講師プロフィール〉

1963年兵庫県加古川市の被差別部落に生まれる。

関西学院大学社会学部を卒業後、神戸新聞記者などを経て現在、ノンフィクションライター。大阪市在住。

1997年から2002年まで大阪大学非常勤講師(部落問題論)を勤める。

部落差別はまだまだ厳しいという悲観論があり、一方で楽観論もある。その「間」はどうなのか？

著書『被差別部落の青春』は、しなやかな感性で「差別・被差別の現在」を直視していると世代を越えて評価されている。

### 〇お問い合わせ

大方総合支所住民課人権係

☎ 43-2800(直通)

大方町民館

☎ 43-1204

大方児童館

☎ 43-3622

教育委員会

佐賀生涯人権教育係

☎ 55-3190(直通)

佐賀町民館・児童館

☎ 55-2108

支えあって50年

退職金は **中退共** におまかせください!!

中退共制度は中小企業で働く従業員のための外部積立型の国の退職金制度です

★掛金の一部を国が助成します

★掛金は全額非課税です

★管理が簡単です

★適格退職年金制度から中退共制度に移行できます

独立行政法人 勤労者退職金共済機構

中小企業退職金共済事業本部

略称：中退共

〒105-8077東京都港区芝公園1-7-6

TEL (03) 3436-0151(代表) FAX (03) 3436-0400

URL <http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>

